

実績期間

2025年5月～2025年10月

回復期リハビリテーションを要する状態の区分	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した患者数	項目	実績
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、脳神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	76名	①のうち、実績指数の計算対象とした患者数…②	75名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	24名	②の患者の退棟時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除したものとの総和…③	1761点
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	4名	②の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものとの総和…④	40.72
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	直前6か月の実績指数 (③／④) ※	43.25点
股関節又は膝関節の置換術後の状態	2名	※実績指数が40を下回った場合、「効果に係る相当程度の実績が認められない場合」とされます。	
合計…①	106名		

実績期間

2025年5月～2025年10月

回復期リハビリテーションを要する状態の区分	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した患者数	項目	実績
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、脳神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	35名	①のうち、実績指数の計算対象とした患者数…②	105名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	80名	②の患者の退棟時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除したものとの総和…③	2247点
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	22名	②の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものとの総和…④	55.53
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	直前6か月の実績指数 (③／④) ※	40.46点
股関節又は膝関節の置換術後の状態	6名	※実績指数が40を下回った場合、「効果に係る相当程度の実績が認められない場合」とされます。	
合計…①	143名		